

【教育目標 夢中になる とともに創る】



# きらきら

新潟市立沼垂幼稚園  
園だより  
令和6年1月30日発行

1月1日に発生した令和6年能登半島地震において、被災された皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧、回復をお祈りいたします。 園長 青木博子

## 予想して試す，振り返る

ぐーっと冷え込んだ，ある晴れた日の朝，道路も土も，きらきら池やプールの水も凍っていました。

早速，登園するとすぐに4歳児年中組が園庭に出てきて，きらきら池に向かいます。登園時に氷が張っていることを見付けていたのです。そっとすくい上げると，透き通った氷が取れました。一人で取れないときは，二人で協力して取れました。やっと取れた氷の破片には一緒に凍った水草の緑が美しく，子どもは，氷の形を眺めたり，輝きを楽しんだりしていました。すべては「おもしろい！」「きれい！」「不思議！」という好奇心や興味・関心から始まりました。

ある子どもが，自分が採った氷を噴水の水に当てています。氷の溶けた水と噴水の水で毛糸の手袋はびちゃびちゃです。私が「何をしてるの」と聞くと「水をかけてるの」と言います。「どうして？」と尋ねると「溶けるかなって…」。もう少しで「濡れるからやめなさい」と言うところでした。その子は，氷に水をかけると溶けるのではないかと予想して，試していたのです。氷から水への状態変化は，これから理科で学びます。何気ない遊びの中から，科学的思考の芽が育つのです。

「氷」という自然現象に子どもは好奇心を持ち，美しさや形の面白さを感じます。氷が取れるときの手や身体感覚と，なんとも言えない爽快感を味わっています。取る楽しさが目的だったのが，やがて，溶かすなどと次の目的に更新されます。そこには「水を掛けたら溶けるかな」と予想したことを確かめようとする価値ある姿があります。

翌日，子どもが，おうちで「氷遊び，とても楽しかったよ」と話していたことを，保護者の方からお聞きしました。自分が好奇心を持ったこと，自分がやってみたこと，考えたこと，その結果どうなったか，そのときの清々しい気持ちやうれしい気持ちをその子どもなりに言語化しています。これは小学校でいう「振り返り」つまり，何をどのように学んだのかという「学びの自覚」に当たり，とても大切な姿です。

自分たちの遊びを振り返り，何をして何ができたのかを再確認することはとても重要です。自分の経験とそこでできたことや見付けたこと，気付いたことを言語化することがこれからの学習に必ず役に立ちます。

私たちの園では，子どもたちが遊びを通して見付けてくる様々な知識や思考力の芽を大切に育てていきます。



## ハッピーを分かち合う

職員室には、いろいろなお客さんが来ます。今日もやってきましたよ。今日は、年少組3歳と満3歳の子どもたちです。何か持ってきましたね。

まずは、3人の3歳児です。プリンカップの中に綺麗な紙が入ったものを大切に持っています。「プリンです。これは食べると幸せになるプリンですよ」と言って、渡してくれました。いいですね。食べると幸せになるなんて、何て素敵なんでしょう。まだ、ありました。「こっちは虹色のプリンです。どうぞ」。みんなは、虹はハッピーなもの、うれしいものだと思っているのね。担任の先生から教えてもらいましたよ。ハッピーだなんて、どこで覚えたのかな。園長先生も、みんなに幸せに、ハッピーになってほしいと思っていますよ。何より3人のきらきら笑顔がハッピーにあふれていますね。

次に、満3歳の子どもが来ましたよ。「プリンをどうぞ」。そして「これは3人で食べてね」と言いました。見渡すと、職員室には3人の先生がいました。そうか。みんなで食べてねってことなのね。みんなのことを考えるなんて、すごいなあ。

それから、3歳の子どもが「オムライスです。食べてね」と届けてくれました。黄色の色画用紙に赤で楽しい模様が描かれています。ケチャップですね。これも本物そっくりです。「〇〇先生にもあげてね。」職員室を不在にしていた先生にも食べてほしいと思ったのね。

こういうごっこ遊びは、とても大切です。

様々なものを活用して、何かに見立てて遊ぶことで想像力が働きます。他者とのコミュニケーション力が高まります。友達と一緒に、作ることやふるまうことに夢中になる。そこから、自分の作ったものを「誰かに見てほしい」そして「誰かに届けたい」という気持ち、さらに「『おいしい』と言ってもらえることがうれしい」。「また、作って一緒に食べたい」。この繰り返しと積み重ねが、人との関わりを豊かに広げていきます。

3歳の子どもたちも満3歳の子どもたちも、張り切って、にこにこしながら私たちに届けてくれました。

ありがとう、みんな。とても美味しかったよ。

そして、とても幸せになったよ。

